



### 新年のご挨拶

#### 理事長 竹谷裕之

新年 明けましておめでとうございます。団体会員、企業会員、個人会員の皆様にとって、この一年が希望に満ち元気に活動できる年になりますよう、お祈り申し上げます。

さて、グラウンドワーク東海にとって、昨年は1月と6月に「雑草とこう向き合う」をテーマに、愛・地球博記念公園の服部さん、(公社)愛知県ベストコントロール協会の森さん、(公財)河川財団名古屋事務所の山内さん、合同会社つむぎての前田さんから報告を得て、フォーラムを開催、参加者は多くなかったのですが、報告が現場の苦労と工夫が感じ取れるものだけに、深い議論ができました。7月のサマーセミナーにはホテルやモリコロパーク、雑草などを素材に8つのセミナーを提供しました。9月には環境デーなどやにブースを構え、折り紙体験を入口に多くの市民にグラウンドワーク活動の大切さを紹介しました。地域の活動団体を訪問し意見交換する企画は、残念ながら取り組めませんでした。

今年2020年をどのような年にするか、1月11・12日には「生物多様性の10年」あいち・なごや生物多様性EXPOに、内山川などGW東海団体の活動を出展、3月にClean Water Projectの瀬川さんの講演を得てフォーラム「楽しめる川づくり」を開催するなど、地域環境を保全し地域社会を元気にする活動を引き続き取り組みます。情報があふれるとはいえ、地域環境が大きく変化中、自然との付き合いは子どもも含め低レベルになっています。肌感覚になっていないので生活の知恵につながるものが老練され、何とか打開の糸口を見い出せばと考えています。地域活動団体を訪問する企画は是非具体化したいし、共同活動に関わる研修支援や提案活動などができると、なおのこと良いと考えています。

会員の皆様に必要とされる活動を充実させて参りたいと考えておりますので、グラウンドワーク東海をもり立てて頂きますように、心からお願い申し上げます。

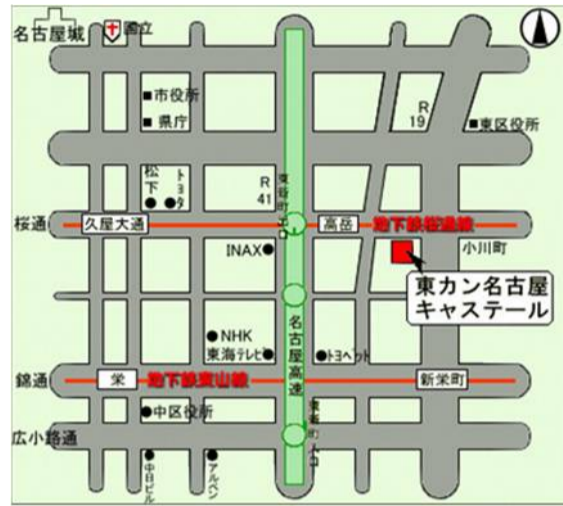
### 私の趣味 ハーフマラソン 竹谷裕之



2019年12月8日、写真の東海市ハーフマラソン2019を走りました。時間は2時間6分54秒。目標は2時間6分でしたので、まあまあという自己評価です。9月22日の横浜新鶴見川ハーフでは猛暑でへこたれ2時間18分3秒、10月27日の諏訪湖マラソンでは2時間7分21秒、やはりマラソンは暑いときのスポーツではないと思います。マラソンを始めたのは大学の友達に誘われて50歳で初チャレンジ。しかし5kmコースが完走できず、息子から笑われ、一念

発起、走り始めました。やり始めるとストレス解消にうってつけとわかり、続けています。練習は週1回、東山公園1万歩コースを走り、秋から春にかけ5、6回大会に参加します。頼まれた講演などをドタキャンして聞きに来られた人を失望させないよう、まずは元気な状態で対応する秘訣の一つになっています。

### 2019年度第2回フォーラム テーマ：楽しめる川づくり



【日時】3月7日(土)13:30～17:00

【会場】〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 2-3-7 東カンキャストールビル 2F 会議室 (地下鉄桜通線「高岳」下車5分)

【概要】ゲストスピーカーに(一社)Clear Water Project (<http://clearwaterproject.info/>) 代表理事瀬川貴之さん

をお迎えして楽しい川づくり、水辺での活動について、参加者の皆さんと意見交換します。

企画詳細はホームページに掲載します。「グラウンドワーク東海」で検索してください。

### 未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいか(成果)リレーキックオフイベント～あいち・なごや生物多様性EXPO～

2020年1月11日(土曜日)・12日(日曜日)10時00分～17時00分名古屋国際会議場イベントホール(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)にて開催。グラウンドワーク東海もイベントホールに出展。主催：UNDB-J、環境省、愛知県、名古屋市  
どなたでも会場出入り無料フリーです。

【テーマ】生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)から10年。COP10で採択された「愛知目標」は、2050年までに「自然と共生する」世界を実現するというビジョン(中長期目標)を持って、2020年までにミッション(短期目標)及び20の個別目標の達成を目指すものでした。個別目標は、数値目標を含むより具体的なものとするを目指していましたが、そのうち、生物多様性保全のため地球上のどの程度の面積を保護地域とすべきかという目標11に関しては、陸域については15～25%、海域について6～20%の間で様々な提案がなされました。最終的に「少なくとも陸域17%、海域10%」が保護地域などにより保全されるとの目標に決まりました。その他「森林を含む自然生息地の損失速度が少なくとも半減、可能な場所ではゼロに近づける」といった目標(目標5)が採択されています。実際の成果は?これからどうするの?答えは会場で。全体企画は以下のURLから見る事ができます。

<http://www.city.nagoya.jp/kankyoo/cmsfiles/contents/0000122/122415/expo.pdf>

### 尾張北部生物多様性協議会の活動

グラウンドワーク東海もメンバーとなっている2010年に始まった愛知独特の生物多様性保全施策の一つで、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市を対象地域として始まった協議会(会長: 林進犬山里山学センター理事長)です。

2019年10月25日(水)に犬山里山学センターで総会が開催され愛知県環境課が進めている、「あいちの生物多様性モニタリング調査」を尾張北部協議会も参加各自治体4市がそれぞれに進めた、結果報告と併せて、希少種保護について今後の進め方について協議が行われました。

しかし、各市とも市独自で調査、希少種保護活動はできず、NPO、

各種団体の活動の中でしか動いていないという問題点が明らかになりました。

今後は以下の方針で活動することになりました

- ・知多半島ネットワーク協議会と交流、協力を進めていきたい、
- ・モニタリングについて、小牧市は一般の観察会で行っていききたい、春日井市は研究会を立ち上げて進めている、瀬戸市は今後の課題として考えることが表明されました。
- ・ほかの課題としてマメナシなどの希少種の自生地保全について、マメナシは地理学的種なので絶滅が早い。瀬戸市では中学生がマメナシの保護をしている、小牧市も増田先生の指導で今後も調査して行きたい、犬山市も現在、里山学研究所で市内の自生木を調査中という報告がありました。

当日の出席者：みろく山麓自然を守る会、名古屋経済大学、日本モンキーセンター、中日本高速道路、徳倉建設、グラウンドワーク東海、犬山市アメニティ協会、スズサイコの会、犬山里山学研究所、愛知県、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市

## 大江川クリーン大作戦結果

GW一宮



2019年11月9日一宮市内を流れる大江川でクリーン作戦が開催され、グラウンドワーク東海も後援しました。

当日は天気も良く、地域住民、企業、行政の方、約600名が参加されていました。今回も可燃、不燃合わせて約2トンのごみが集まり、活動の継続が必要だと

改めて感じました。この大江川クリーン作戦も今回で21回目を迎えたそうで、役員さんに聞くと、次の目標は30回の開催を目指して頑張りたいとのことでした。

(写真)清掃作業の様子。川の中に落ちているごみも拾いました。清掃後の楽しみは、おにぎり！ボーイスカウトの子どもたちもがんばりました。



## 東海丘陵要素植物のマメナシについて

犬山里山研究所 福田理事



犬山には約53本のマメナシの自生木がありますが、ヒトツバタゴやシデコブシとくらべて知名度が低く、保護されていません。ちなみに国のレッドデータブックではマメナシ絶滅危惧IB類(EN)ヒトツバタゴ絶滅危惧II類(VU)シデコブシ準絶滅危惧(NT)でマメナシの方がランクは上です。花はナシに似て純白で、ソメイヨシノが咲く前後に咲きナシに似た1cmほどの実がなり、実が青いうちは酸っぱく、熟すると苦くなり食べることはできません。それでも、東海地方の花として守っていききたい花です。



## 会員募集と会費納入のお願い

2019年度会費未納の方は納入をお願いします。新規加入ご希望の方は事務局へメールまたは携帯電話(アドレス、番号は本紙トップに記載)でご連絡の上、以下の口座番号へ会費を納入してください。

金融機関	口座番号	口座名義	会費
郵便局(ゆうちょ銀行)	記号 12160 番号 45969591	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	個人正会員様 10,000円/年 個人協力会員様 3,000円/年
三菱東京UFJ銀行 名古屋営業部	店番 150(普通) 番号 5759603	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	企業・活動団体様 事務局へメールでご確認ください